



藤枝ロータリークラブ会報

会長:玉木潤一郎 副会長:江崎晴城 幹事:鈴木邦昭 副幹事:平野純也・山田賢昭

第2346回

通常例会/小杉苑

2020-2021年度 R1テーマ



Partnership Development

ロータリーは機会の扉を開く

■ 会長報告

玉木 潤一郎君

最近の開会前も暇で、検温係をやることで皆さんと挨拶できてちょうどいいです。



今期のロータリ

一の行事は最終例会と会長幹事会を残してほぼ無いので、趣味の話を。

多趣味な方ですが中でも音楽が好きで、青島克郎さんや平さんと一緒にジャズをやっています。最初はまったく吹けなかったテナーサクソですが、克郎さんに吹けなくてもいいから来いと誘ってもらって少しずつ楽しくなってきました。

こういう「芸ごと」というのは、私たちの仕事や生き方に通じる教訓がたくさんあります。

① 芸事を比較するときの心得

相手の技能が自分より下と思ったときは同等
同等と思ったときは相手が上
相手が上と思ったら及びもつかないほど開きがある、と考える励むこと

② 徒然草 吉田兼好

これから芸事を身に着けようとする人はとかく「ヘタクソなうちは誰にも見せたくない。こっそり練習して、ある程度見られるようになってから披露するがカッコいい」と言うものだけど、そういうことを言っている人が最終的にモノになった例えはひとつもない。

まだ未熟でヘタクソな頃から、上手くてベテランな人たちに混ざって、バカにされて笑われて、それでも恥ずかしながらに頑張っていれば、特別な才能がなくても上達できる。

道を踏み外したり、我流に固執することもない

だろう。

そのまま練習し続けていれば、そういう態度をバカにしていた人たちを遥かに超えて、達人になっていく。人間的にも成長するし、周囲からの尊敬も得られる。

今は「天下に並ぶ者なし」と言われている人でも、最初は笑われ、けなされ、屈辱を味わった。それでもその人が正しく学び、その道を一步一步進み続けてきたおかげで、多くの人がその教えを授かることができるようになった。

どんな世界でも同じである。

■ 幹事報告

鈴木 邦昭君

- ・ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま Vol. 255 が届きました。
- ・一般社団法人ロータリーの友事務所より
ロータリー日本100年史の案内が届きました。

■ 出席報告

仲田 廣志君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
37/42 88.09%	38/42 90.47%

(1) 欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)
落合君 大杉君 鈴木舜君 仲田晃君 柳原君

■ ゲスト

中部電力パワーグリッド(株) 遠藤 達哉様

■ ロータリーの友紹介

池ノ谷 敏正君

『ロータリーの友 6月号紹介』



6月は親睦活動月間です。

いつもですと月間に関する特集記事が友のトップを飾るのですが、なぜか今回は「環境」がテーマとなっています。それは、ロータリーが「環境」を重点分野に加えたからだそうです。

そんな環境に関する特集記事は、横組みの7ページから。

「私たちの自然の中で」と題して、各国のロータリーが行ってきた環境保護活動がその活動をイメージさせる写真と共に紹介されています。

「環境」に関する活動は、やはり先進国ではなく、途上国における問題に対しての活動が顕著のようです。

そして、16ページには、RI会長が「環境」を重点分野とした理由が、続く18ページには、グローバル補助金を利用できる活動例が紹介されています。

使われている写真もなかなか良いものかと思えますので、写真と共にご覧ください。

22ページからは、「喧々諤々」。先月もご紹介しました新型コロナ体験、得たこと、失ったことのパート2です。

全国のロータリアンのコロナ過で感じたことが、4ページにわたって紹介されています。

25ページの最後には、焼津南ロータリークラブの法月昭治会員の得たこと失ったことが載っています。是非、ご覧下さい。

続く26ページからは、「世界中のロータリープロジェクト」。各国のロータリーが行っているプロジェクトが紹介されています。

その中で私が驚いた記事を紹介します。27ページのアメリカ。人身売買被害者の3人に1人が子どもだという記事です。世界中のどこでも起こっている問題とのこと。今の我が国日本にも、こういったことが行われているのでしょうか。のほほんとして生きている私には、ドラマの世界の気がします。

そんな時偶然にも、深夜のテレビ映画で「96時間」という作品を観ました。特殊工作員のアメリカ人の娘が、フランス旅行に行き人身売買の被害者となり親がそれを救うという内容のものでした。人身売買がヨーロッパを舞台としたアメリカ映画の題材になっていること自体、私が思っている以上に人身売買が世界で行われて

いる証拠なのかもしれないと思ってしまいました。本当に、とても恐ろしいことだと思います。

そして30ページは「大人の着こなし図鑑」の最終回。一年間の総括と、ネクタイの話題が取り上げられています。

これから暑さも本番で、クールビズが当たり前の季節ですが、最後に記された「クールビズと行き過ぎたカジュアル化の違いはロータリアンとして意識してもらいたい。」という言葉に身が引き締まる思いがしました。皆様はどうお感じになるでしょうか。

是非、読んでみてください。

今回は、縦組みの紹介です。

13ページの「卓話の泉」をご覧ください。今どきの就活と題されて、福井大学の教授が今どきの大学生の就職活動について説明しています。

会員の皆様の会社においても、これからの人材獲得の参考になるのではないのでしょうか。縦組みのトップ記事である「スピーチ」くらいのボリュームで読んでみたかったですね。

16ページからは「友愛の広場」。

講談になった奉仕の一世紀、と題して堺泉が丘ロータリークラブが「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」という本を講談師と協力して、講談化したという活動が紹介されています。最近、新進講談師の神田伯山師匠が目ざされ、講談も落語のように日の目が当たり初めている古典芸能です。

玉田玉秀齋師匠の写真の右下のQRコードから、5話に分かれた講談動画を見ることができます。1話25分程度かと思えますので、休日などにじっくりとご覧になってはいかがでしょうか。

最期に横組みに戻りまして、48ページ。次年度の「友」の新企画が紹介されています。

その左下、私の好きな落語家の一人、三遊亭白鳥師匠が載っています。次回からの「俳壇・歌壇・柳壇」の選者だそうです。春風亭昇太師匠と仲が良く、毎年開催されている清水にぎわい落語まつりにも、毎年呼ばれ舞台を務めている実力派です。

写真のようにジャージのようなデザインの着物をまとい、新作落語を得意とする異色落語家白鳥

師匠が、どんな俳句、和歌、川柳を選出するか個人的にとっても楽しみです。

以上で、今年度最後の友の紹介とさせていただきます。一年間お付き合いありがとうございました。

■ 新会員卓話

武田 浩英君



ジブラルタ生命保険株式会社静岡支社藤枝第一営業所の武田浩英と申します。地元は、島田市は六合の東町、西暦 1970 年昭和 45 年の戌年生まれで今年 51 歳になります。一昨年の 2019 年 6 月に 48 歳で再婚をしまして、恥ずかしながら 2020 年の 1 月に生まれた娘がもうじき 1 歳半になります。今はその妻と長女の 3 人で暮らしております。

平成元年に島田高校を卒業後、社会の歯車になるなんて嫌だ！と若気の至りで大学受験を投げ出してしまったものの、最初の結婚を機に島田市内の運送会社に就職し、離婚してしまっただ後もそこに 18 年間勤務しました。しかし配車係を任された最後の 5 年間は当たり前のように毎期赤字を計上するサラリーマン経営陣ととともに衝突してしまい、残念ながら退職することを余儀なくされてしまいました。現場やまた翻って経営陣に自分の考えを伝えていく中で、自らの知識不足を痛感し、志したのが中小企業診断士でした。

診断士の勉強中に知り合った友人に誘われて入社したのが今のジブラルタ生命です。「日本の保険と貯蓄の流れを変える！」を合言葉に、お客様の真にお客様のお役に立ちながら、また診断士の勉強で学んだ財務会計等の知識を法人営業に丸ごと活かせる場所も本当に気に入っています。将来において中小企業診断士として独立開業することがあっても、その傍らで生命保険営業はずっと続けていきたいと考えております。

さて、もしも私が 100 歳まで生きられたら娘が今の私の年齢になり、そうすれば孫の顔も余裕で

拝めるだろうと内心密かに目論んでいるのですが、仮に私や妻が 100 歳まで生きたら私は 2070 年、10 歳下の妻は 2080 年まで生きることになります。そして同じように娘が 100 歳まで生きるとすると、娘は 2120 年まで、なんと 22 世紀の世界を生きることになります。

今から 100 年後の未来の世界がどうなっているかなんて私には皆目見当もつきませんが、それ恐ろしいようでもあり、その反面なんだか楽しみなようでもあります。先日いただいた入会証書には、ロータリーの基本精神は「相手の身になって考えて行動し特に自分の職業の倫理を高め、これによって世の為人の為に奉仕し、より良い明日の世界を築く」とありました。日本の歴史始まって以来の人口減少局面を迎え、国の債務残高が対 GDP 比で 2.4 倍を超えてしまっているような昨今のご時世ではありますが、私の娘や娘の世代のためにも、藤枝ロータリークラブの諸先輩方のご指導ご鞭撻を受けつつ、奉仕の精神をもってこの地域のより良い未来を築いていくことにほんの僅かでも貢献できたらと考えております。

まだまだ至らぬ私ではございますが、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



望月 隆司君

株式会社望月設備の代表をやらせてもらっています、望月隆司です。

会社は善左衛門のヘルポート前にあります。藤枝市を中心に県内全域、御依頼があれば何処へでも工事に伺います。仕事内容としては給排水衛生設備工事、の配管工事等をやっております。いわゆる水道屋さんです。

会社の概要ですが、20 歳頃に一生地域貢献できるお仕事は何かと考えたときに水道屋さんで、この仕事ならずっと続けられると思い、この業界に入り、経験を積み平成 12 年 2 月に 29 歳に個人事業主、望月設備として独立したのち、廻りの皆様やお客様のおかげで、更に責任を持って仕事に向き合いたいと考え平成 26 年に法人化して株式会社望月設備を設立して今にいたります。

最近やった工事や内容として、公共事業に関しましては、市民体育館の緊急避難場所の防災トイレの工事やふれあい広場トイレ改修工事や東部幹線の排水管布設工事等です。民間工事ですと一般住宅はもちろん葬儀施設新築工事の給排水工事や宿泊付福祉施設新築工事の給排水工事等をやっております。あとは排水の詰まりの工事、最近ですと例えばちょっと汚い話になってしまうかと思いますがトイレの排水が流れないといってみたら外の枡が便でパンパンになっており、高圧洗浄機で便の中に侵入させ開通するまでやった工事があります。

以前入会していた団体や現在活動している団体や取り組み（Y E G 藤枝商工会議所青年部で先輩方や後輩達のサポートをさせていただきました。藤枝法人会で経営や税務のお勉強をさせていただきますながら、1年に一度の研修旅行へ行き楽しませてもらいました。）

趣味・資格等について（野球・ゴルフ・車・ドローン）

この団体入会した理由と一番楽しみにしていること
現在入っている団体とは違って年齢層幅広い先輩方や、経験豊かな皆様が多くいらっしゃると伺っていたので少しでも私自身を知って、一日でも早くかわいがって頂けるようになりたいと思います。

当然のことながら、仕事にもつながれたらと思っておりますのでどうぞ宜しくお願いいたします。



ソングリーダー…… 内田 寿美君
ソング…… 我等の生業

四つのテスト



《6月の事務局開局日時》

月	火	水	木	金
	1	2	3	4
	10:00~ 16:00	9:30~ 17:00	10:00~ 13:00	閉局
7	8	9	10	11
閉局	10:00~ 16:00	9:30~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局
14	15	16	17	18
10:00~ 16:00	10:00~ 16:00	閉局	閉局	10:00~ 16:00
21	22	23	24	25
閉局	10:00~ 16:00	10:00~ 15:00	閉局	10:00~ 16:00
28	29	30		
閉局	10:00~ 16:00	10:00~ 16:00		

※ 開局日時は変更になる場合があります。
最新の情報は、ホームページでご確認ください。

事務局

〒426-0037

藤枝市青木 1-11-10 アクセス 21

TEL054-647-2300 FAX054-647-2040

E-mail: club1972@fujieda-rotary.org

(担当/辻君)